



## 2021-2022 年度 第 1909 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：関口 隆 幹事：佐々木 隆 広報委員会リーダー：仲田俊夫  
 例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ<<水曜 12:30>>  
 事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内  
 TEL：028-635-5511（ホテルニューイタヤ）



9 月 第 5 例会

2021 年 9 月 29 日 (水)



会員数 55 名 出席 26 名

司 会

横尾 憲一 会場監督 (S. A. A)

§ ロータリーソング「四つのテスト」

会長の時間

関口 隆 会長

皆さんこんにちは。

10 月は米山月間で 11 月がロータリー財団月間です。今まで当クラブは会費と一緒に米山特別寄付及びロータリー財団寄付、そしてスマイルを徴収していました。(資料配布)

国際ロータリーとして、これらは強制的に徴収してはならないとされており、それに則り今年度は会費と一緒に徴収しておりません。例会に出席されている方々は各寄付受付にてご協力いただけますが、なかなか例会に参加できない方々には、振込も対応させていただきます。(資料配布)

12 月中にご寄付されますと、確定申告に間に合うように領収証が送られて参りますので、ぜひご協力をお願い致します。

幹事報告

佐々木 隆 幹事

§ 10 月 1 日緊急事態宣言解除による例会の方法について

現在の方法を維持し、食事はチケット制、出席は 100%扱いとする。

子ども食堂小委員会報告

横尾 憲一 委員長

§ 毎月第 2 第 4 月曜日に子ども食堂を開催しております。前回はお弁当ではなく、ケータリングサービス形式で開催し、おかわりする子供たちも多く喜んでくれました。ぜひ皆様のご参加をよろしくお願い致します。

## スマイルボックス委員会報告

## 黒崎 丈博 委員

- § 関口 隆会長 平澤先生、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお願い致します。
- § 平澤照隆副会長 本日、卓話させていただきます。よろしくお願い致します。
- § 佐々木隆幹事 平澤さん卓話よろしくお願い致します。
- § 笠原正人会員 ガバナーを歓迎してスマイルします。
- § 仲田俊夫会員 平澤様、卓話よろしくお願い致します！！
- § 岩本一男会員 平澤会員、今日の卓話楽しみにしております。
- § 長谷川博夫会員 本日は仏教の世界の話、楽しみです。よろしくお願い致します。
- § 臺 容之会員 本日の卓話よろしくお願い致します。
- § 山本敬三会員 米山奨学会！よろしくお願い致します！
- § 高久和男会員 緊急事態解除、うれしいね、これからダッシュ
- § 鈴木秀明会員 これでコロナも終息すればいいですね。
- § 田中正夫会員 制限解除に期待しましょう。
- § 若月章男会員 昨日は愛妻の誕生日、きれいな花を届けていただき、ありがとうございました。お陰様で今のところ夫婦円満です。
- § 塩田 潔会員 2週間続けて欠席しました。申し訳ありませんでした。腰痛で車に乗ることがままならず休ませていただきました。
- § 黒崎丈博会員 皆様、いつもスマイルありがとうございます。感謝申し上げます。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました 14名 金額 14,000円

## 会員卓話

平澤 照隆 会員 宗教法人 金剛定寺 住職

## 「お彼岸について」

彼岸とは読んで字の如く、彼の岸、つまり向こう側の岸で、迷い・苦しみ・煩悩のない清らかな世界の事です。

それでは、どのようにして現在のような彼岸会が営まれるようになったか、お話ししたいと思います。

彼岸とは古来よりの太陽崇拝の信仰と中国より伝わった浄土信仰それに仏教の中道の教えが合致したものとされています。仏教が伝わる以前の日本では太陽崇拝の儀式が行われていました。農作物にとって、太陽の恵みは欠かせないものです。この彼岸の時期、寒い冬を乗り切ってこれから春に向けて農耕の季節を迎えるわけです。

暑さ寒さも彼岸までと言う言葉が有るように、この季節の変わり目の時期に一年の農耕の安全と豊作を祈願していたのです。一説には、お彼岸という言葉は「日願」が語源だとの説もあります。

春分の日と秋分の日には太陽が真東から出て、真西に沈む。そして昼と夜の長さが同じであり、大変意義深い日であった訳です。この日にいろいろな貢ぎ物を献げて五穀豊穡と無病息災を祈ったと思われます。



今でも、近畿地方の一部に残っているとされる「日迎え・日送り」の行事。これは彼岸の入り朝日が出てくる東の方向にあるお宮やお寺を参拝し、日中は南の方向にあるお宮やお寺を参拝し、又彼岸明けには西の方向にあるお宮やお寺を参拝して、農耕の安全と豊作の祈願、そしてご先祖様をお祭りして家内安全や無病息災を祈願したそうです。

次に浄土思想ですが、先ほど述べたように春分・秋分の日が太陽が真東から昇って、真西に沈む事から、浄土思想では極楽浄土の世界は西の方角の遙か彼方にあると考えられています。

彼岸の中日（春分と秋分）は太陽が真東から昇り真西の沈むので、西方に沈む太陽を礼拝し、遙か彼方の極楽浄土に思いを馳せたのが彼岸の始まりとも言われています。

元々中国より伝わったものですが、心に極楽浄土を思いまねき、浄土に生まれ変われることを願ったものですが、日本に伝来後いつの間にか法要を営み、祖先を祀る行事へと変化していったようです。

最後にお釈迦様が説かれた中道の教えですが、仏教では極端を嫌い何事もバランスよくゆっくり焦らず努力するという「中道」の考えを大切にしています。

例を挙げますと弦楽器において弦を張りすぎると切れるし、ゆるみすぎると音に鳴りません。中間がちょうど良いと言う考えです。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、この時期は暑からず寒からず「中道の季節」ともいえるのです。又、彼岸の中日（春分・秋分）の日は昼と夜の長さが同じになる、仏教で良しされる「中道」の日なのです。この様にこの3点がうまく融合して現在の彼岸会を形成して言ったと思われます。

それではこの彼岸会はいつ頃始まったのでしょうか。

さわらしんのう

文献によると大同元年（西暦 806 年）2 月、崇道天皇（早良親王）の霊をを慰めるため、諸国の国分寺に於いて「7 日 7 晩、金剛般若経を唱え続けた」と有ります。これが彼岸会の初めと記述されています。

彼岸とは年 2 回、春は 3 月 17 日より 23 日まで、秋は 9 月 20 日より 26 日まで、春分の日（3 月 20 日）、秋分の日（9 月 23 日）を中心として、その前後 3 日間、合わせて一週間設けており、初日を彼岸入りなか日を中日、最終日を彼岸明けと言うのです。

この彼岸の期間を仏教では彼岸会と言って、ご先祖様への感謝の気持ちを込めてご供養する仏教行事なのです。

それでは、何故一週間の期間が必要なのでしょうか？

お墓参りをするのでしたら 1 日あれば十分です。皆様、一人一人が（むさぼり・怒り・ねたみ）などの煩惱や迷いの世界「此岸」から、苦しみのない悟りの世界・理想の世界「彼岸」に渡るためにはお釈迦様の「六つの教え」「六波羅蜜」を実践する事が必要なのです。その為に一週間という期間が設けられているのです。

彼岸会は「到彼岸」の意味とされ、原語のサンスクリット梵語ではパーラミータ（波羅蜜多）といいます。到彼岸とは文字通り彼岸に到達するという意味です。



お釈迦様は、自分も他の人もより高い幸福を得ることを到彼岸（パーラミータ）として6つの教え六波羅蜜の教えを示されたのです。

煩惱に満ちた現実の世界「此岸」と苦しみのない悟りの世界「彼岸」の間に流れているのが、人間の悩みの世界が作っている煩惱の川なのです。そこで、迷いの世界「此岸」から、六つの修行の船に乗って悟りの世界「彼岸」に渡ろうというのが、彼岸の教え、六波羅蜜の教えなのです。

その六つの修行の船とはどんな船なのでしょう。

先ず第一の船は

布施：物質や心に捕らわれず、関わりを持った人に優しさや喜びを分け与える事、施す事。

第二の船は

持戒：規律を守って、節度有る生活を過ごす事。

第三の船は

忍辱：不平不満を言わず、心を動かさずに堪え忍ぶ事。

第四の船は

精進：心に目的を持ち、その目的の向かって  
たゆまず努力し歩む事。

第五の船は

禪定：常に平静な心、穏やかな心持ち続ける事。

第六の船は

智慧：心理を見抜く力を身につけ、迷いを払拭し無上の境地に到る事。



この六つの船を「六波羅蜜」とされているのです。

日頃は忙しくてなかなか出来なくても、年2回のお彼岸には、お釈迦様の説かれたこの六つの教えを実践しようと言うのが、お彼岸本来の意味なのです。だから、お彼岸にはご先祖様のご供養をするとともに、彼岸に渡る修行を通して、自分自身を見つめ直す良い機会なのです。どうぞ、この彼岸の期間をうまく利用して自分自身を見つめ直してみてください。新しい自分が見つかるかもしれません。

<https://www.kongoujouji-utsunomiya.com/>

ホームページ内の「歴史」で弘安元年（西暦一二七八年）鎌倉時代北条時宗の時に開かれた記述や桑島の地名など、詳細に掲載されています。ぜひご覧ください。



出席報告 嶋田 辰雄 委員長

会員数 55名 前々回 9月15日  
 出席数 26名 訂正率 52.27%  
 欠席数 29名  
 出席率 48.15% (出欠問わず 100%)

例会予定

第1910回 10月6日(水)  
 会長卓話  
 関口 隆会長  
 「米山記念奨学基金」について

プログラム

日付	時間	プログラム	例会場
第1911回 10月13日(水)	12:30~13:30	新入会員卓話 川辺康子会員・小松和美会員	ホテルニューイタヤ
第1912回 10月20日(水)	12:30~13:30	理事会報告及び「奉仕の理 念」について 関口 隆会長	ホテルニューイタヤ
第1913回 10月24日(日)		会員はWeb開催 会長・幹事のみ地区大会参加	真岡市 市民ホール
第1914回 10月27日(水)	18:30~20:30	(仮)夜間例会 お月見例会	ホテルニューイタヤ